

祈りの大地

「一〇〇年前といまを往還する、ある家族の物語」

作・演出 シライケイタ

美術 長田佳代子 照明 横原由祐 衣裳 宮本宣子

音楽 的場英也 音響 佐久間修一 舞台監督 深川絵美

境賢一 みやざこ夏穂

吉岡扶敏 塩田泰久 小守航平

中地美佐子 飯野遠 石川桃

後援 川崎市麻生区

2025年11月27日[木]—12月7日[日]

東京芸術劇場シアターウエスト[池袋]

祈りの大地

作・演出 シライケイタ

一九二三年九月一日に首都圏を襲った関東大震災。死者・行方不明者十万人以上という未曾有の災禍の混乱のなか、様々な流言（デマ）によって多くの朝鮮人らが虐殺される事件が各地で起きました。その全貌は未だ明らかにされていません。戒厳令下で市民になにが起きていたのか。立場や意見を越えて過去を見つめ直すためには……。自身の劇団温泉トラゴンで上演した日韓三部作など、日本と韓国にかかわる作品を手掛けてきたシライケイタ氏が日本の加害の歴史にふたたび向き合う創作劇です。

二〇二三年、東京の西の町。社会部記者の川上良平とバレエ教師の恵美子は、大学生の娘と十代の息子とともにこの町で暮らして来た。恵美子の実家を建て替えて地下にバレエのレッスン室を作ることになるが、深く掘削する工事の最中、地中から人骨が発見される。おもむろに語りだす恵美子の父源太郎。彼が祖母千代から聞いて育ったという話は一〇〇年前のこの地で、ある母娘に起きた町の暗い記憶だった。時を超えて現代の家族たちに語りかける。



中地美佐子



みやざこ夏穂



境 賢一



飯野 遠



塩田泰久



吉岡扶敏



石川 桃



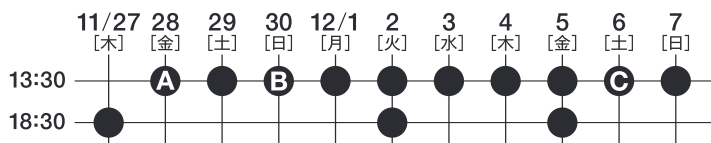
小守航平



劇団民藝

2025年11月27日[木]—12月7日[日] 東京芸術劇場シアターウエスト[池袋]

一般前売開始—2025年10月17日[金]10時～ 「民藝の仲間」会員先行予約—2025年10月10日[金]10時～



◆入場料金[全席指定・税込] ※開場は開演の30分前・受付は開演の1時間前からです。

一般 7,000円 / 夜チケット 5,000円[夜公演全席]

U30[30歳以下] 3,500円 | 高校生以下 1,100円

(枚数限定)[劇団のみ取扱い、要証明書]

◎25歳以下の方対象の無料観劇制度

「ルーキーシート」を実施中! 詳細とWeb登録はこちら▶

「民藝の仲間」会員募集中!

◆お申し込み・お問い合わせ

劇団民藝 044(987)7711[月—土 10時—18時]

<https://www.gekidanmingei.co.jp/>

チケットぴあ <https://pia.jp/> セブン-イレブン店舗でも購入可能

ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード 35475

イープラス <https://eplus.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス

0570(010)296[休館日を除く10:00～19:00]

<https://www.geigeki.jp/t/>

イラストレーション=信濃八太郎 デザイン=松吉太郎



ルーキーシート



劇団民藝

◎終演後のイベント(参加費無料、予約不要)

A: 11月28日[金] シライケイタ氏のアフタートーク

B: 11月30日[日] バックステージツアー

C: 12月6日[土] 出演者との交流会

バリアフリー観劇情報[ご利用の際は必ず事前にご連絡ください]

※バリアフリー割引あります。※車イス席・補助犬・点字チラシ・点字パンフレット承ります。

※視覚障害者対象・事前舞台説明会=11月30日[日]/12月6日[土]12時30分～

※聴覚障害者対象・台本事前貸出申込先=FAX 044(986)0034

E-MAIL=seisaku@gekidanmingei.co.jp[当日受付でも筆談対応可能]

詳細は
HPで

東京芸術劇場
シアターウエスト

〒171-0021

東京都豊島区西池袋

1-8-1地階

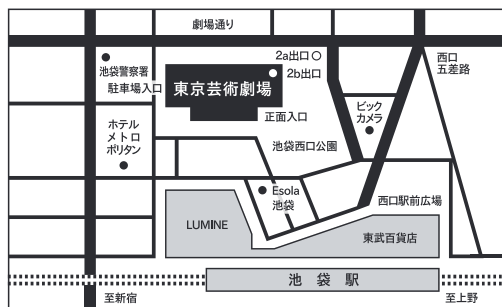
Tel:03(5391)2111

JR・東京メトロ・東武東上・

西武池袋 池袋駅西口より

徒歩2分 駅地下通路2b

出口直結



オールウェルカム
TOKYO

本事業は、障害の有無や、言語・文化の違いを超えて、誰もが楽しめる東京を目指すキャンペーン「オールウェルカムTOKYO」に協力しています。

本事業の鑑賞サポートは、「東京文化戦略2030」の取組「クリエイティブ・ウェルビーイングトキョー」の一環でアーツカウンシル東京が助成しています。



KAWASAKI
SDGs

川崎市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。